

コンストラクトを用いた動揺歯の固定直接法

準備

固定部の長さを、アルミ箔やフロスで計り、計測値より 0.5 ~ 1.0mm 長いコンストラクトリボンを用意します。
リボンは専用のハサミでカットします。
インスツルメント等で、コンストラクトレジンにリボンの両面に擦り込む様に浸透させ、半透明になれば準備完了です。



操作方法



コンタクト付近にゲルエッチャントを塗布し、10秒後、水洗、乾燥を行います。
歯面が白濁しない場合、再度、リン酸エッチングを行います。
※基本的に上顎は唇側に、下顎は舌側に固定します。



Optibond eXTRa アドヒーズィブを1歯15秒ブラッシングモーションで塗布し、エアブローを5秒、光照射を10秒行います。



ボンディング材塗布部に、充填用CRプレミスを少量、乗せます。これにより、リボンがずれにくくなります。



③の遠心部に、準備したリボンを合わせます。

ボンディング材はOptibond XTR アドヒーズィブ、またはOptibondオールインワンをご使用下さい。
金属補綴物の場合、シランプライマー処理は不要です。セラミックや硬質レジンの場合、シランプライマー処理後、ボンディング材を塗布します。弊社では、口腔内サンドブラストのご使用をお勧めいたします。



③の遠心部からリボンを圧接し、余剰レジン除去します。



③遠心部の合わせた位置から、1歯につき10秒ずつ、光照射を行います。



リボン表面を滑沢にするため、シェードを合わせたプレミスフロアブルを、マイクロブラシ等で塗布します。



③遠心部の合わせた位置から、1歯につき10秒ずつ、光照射を行います。



シリコンポイント（OptiWans テップポリッシャー）で、表面を仕上げます。



完了。

リボンの除去方法



リボンの端をカーバイドバー等で削り、端を止血鉗子等で把持して、クルクルと巻き取る様に除去します。歯面に残ったボンディング材やCRはカーバイドバー #9406 で除去し、ポリッシングを行います。

フロアブルレジンが摩耗した時の修復



リボン表面をゲルエッチャントでリン酸処理し、水洗、乾燥させます。Optibond XTR アドヒーズィブを塗布し、各歯、エアブローを5秒、光照射を10秒行います。その後、プレミスフロアブルで修復します。